

浅間山溶岩樹型

浅間山地域で唯一の国指定特別天然記念物

■■■大地の活動■■■

「浅間山溶岩樹型」は、1783(天明3)年に噴出した吾妻火砕流が森林地帯に流れ込んでできた井戸状の穴です。世界的にも珍しいため1952(昭和27)年に国の特別天然記念物に指定されました。安山岩質の噴出物を中心とする火山活動による溶岩樹型は希少であり、価値の高い自然遺産です。樹型は縦穴形状で落葉や土砂が入りやすいため、溶岩樹型保護員(住民ボランティア)によって、計画的に保全・管理作業が行われています。



溶岩樹型内に自生するヒカリゴケ



保護員による保全作業